

西光寺だより

第四十一号 平成二六年 一月一日発行

新年あけましておめでと〜うございます

新しい年を迎え、皆様心新たに過ごしのことと思います。昔とは違い、お正月らしさが少なくなってきた現代においても三が日のゆつたりとした街の風景はやはり日常とは違った姿を見せてくれます。

元旦より届く年賀状もそのひとつですね。もう何年も会えていない人であっても年賀状だけは変わらず続いている、元気で過ごせていることを伝えてくれます。普段はなかなか会えなくても、お互いに相手のことをきちんと思っていて、新年の挨拶ができること。年の初めにこんなにも温かい便りが届くことを毎年ありがたく感じます。

日本のような年賀状を送る慣習のある国は、他にはないようです。また、インターネットやメールが普及した今でも変わらずありつづけるのは、やはり人の心に寄り添ったものであるのでしょうか。旧年の御礼と新年のご挨拶を筆にしたためて送る、その文化に日本という国の、人を思いやる心の美しさを感じる事ができます。

そして、何よりも年賀状を通して、自分を思ってくれている人がいてくれることのありがたさを感じます。自分は決してひとりですべているわけではなく、たくさんの方の繋がりと支えの中で生かされているということ。

さて、今年はどうな出会いが待っているでしょうか。笑顔と感謝でいっぱい的一年になると良いですね。一年は一日、一日の積み重ね。今日出会えた自分を、今日出会えた人を、今日出会えたたくさんの方と大切にしたいです。

西光寺におきましても、皆様とともにお念仏する日々を大切に大切に重ねていきたいと思えます。本年もよろしくお願ひいたします。

◆先月の報告◆

①十二月五・六日に京都西本願寺にて第二十五回茨木東組念仏奉仕団に三名のご門徒さんと一緒に一泊二日で、西本願寺清掃活動に参加してきました。良い天気にも恵まれ、とても清々しく活動することが出来ました。今年には茨木東組五十五名の参加で、同じ日程の参加者が全国から約三百人來られ、皆さんで御影堂や境内地の百華園のお掃除を致しました。ご門主様との記念撮影や龍谷ミュージアム観覧・京都東急ホテルでの懇親会、国宝の飛雲閣や書院での抹茶接待と内容は盛りだくさんでございました。

そして朝六時からのお晨朝（朝のお勤め）は寒さの中、凜とした空気を体全体で感じながら、日頃なかなか味わうことの出来ないお勤めをさせて頂きました。その後の帰敬式もご門主様が頭にお剃刀をあて、法名をいただき、阿弥陀さまと親鸞聖人の御前で、浄土真宗のみ教えの中に生きていくことを誓う儀式を拝見させて頂き、一生に一回の瞬間を味わうことができました。（茨木東組から二名の受式）

その場に行かないと感じることの出来ない体験を、今後もさせて頂きたいと思えますので、これからも宜しくお願ひ致します。

*追伸 今回参加された方々、楽しい時間と貴重な経験を共に感じられた事、感謝しております。ありがとうございました。

②十二月十三日に勝光寺にて茨木東組第六期連続研修会開講式を行いました。この連研とは僧侶と共に親鸞聖人のみ教えを伝えるご門徒を育てるといふ目的で行われるものであり、今期の連研は『本音で語ろう、浄土真宗』をスローガンとして、各回のテーマにそって日頃思っていることをそのままお話しさせて頂き、仏法に照らしてどう考えたらよいのかを、御講師の先生・僧侶・ご門徒の皆様と語り合う場

でございます。全十二回・二年間の長丁場でございますが、できるだけこの西光寺だよりでご報告出来ればと思います。

第一回のテーマは「さまざまな宗教がありますが、めざすところは皆同じなのではないでしょうか？」という内容で各班に分かれ話し合いをし、選ぶというよりも生まれながら浄土真宗、嫁ぎ先が浄土真宗、仕事を辞めてからはじめて浄土真宗にかかわる、祈禱などではなく常に見守ってもらっている安心感がある、死ぬ覚悟ができた、戒律がないので自分にあっている、などさまざまな話し合いが行われました。今の自分を知るために他人の話を聞く、そんな思いで皆様参加されている思いが伝わるひと時でした。

これからも少しずつですが、掲載させていただきます。

③十二月三十一日、西光寺にて除夜会を行いました。去年よりは少し暖かい風を感じながら一〇八つの除夜の鐘をつきながらこの一年間のさまざまなことや人とのご縁を感じながらのひと時でした。約七〇名の方々と共に旧年のご挨拶と新年のご挨拶を交わしながら、一年の終わりを味わわせて頂きました。

また、今年の除夜会は竹灯籠を西光寺境内に約三〇〇本ならべ、その中にロウソクを灯しながらの風景はなかなかの評判でした。これを機会に夏のお盆の法要などでもならべさせて頂きたいと思っております。

④一月一日、午前十時より西光寺本堂にて元旦会の法要を行いました。この元旦会は、修正会とも呼ばれ、過ちをあらため、正しきを修めるということであるから、年のはじめに身を正し、思い新たに、念仏を申すことが生活の原点であることを確かめる法要でございます。西光寺では、ご門徒の皆様とご一緒に正信偈・行譜・六首引きのお勤めを致しました。新たな一年を迎えるにあたり阿弥陀様への感謝をご報告させていただきました。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

【お詫び】

西光寺だよりにて元旦会の法要時間が十一時と記載されているものがあり、ご門徒の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたこと、お詫び致します。申し訳ございませんでした。

合掌



念仏奉仕団開会式と朝のおつとめ



西光寺除夜会 鐘楼にて

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七一一

電話 〇七二一六二一四七九四

FAX 〇七二一六二一九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>